

日時 2023年12月5日 (火) 19:30~21:00 (質疑含)

演題 『プラスチックから溶けだす有害物質』

—環境ホルモンの視点から—

講師 水野玲子さん (NPO法人「ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議」理事)

申し込みは3R全国ネット(reuse@citizens-i.org)にメールをお願いします。
件名を、「オンラインセミナー第18回(12月5日)視聴希望」とし、氏名・所属・TELを記載してください。後日、視聴用のURLをお送り致します。

参加費無料
先着
100名まで



【講師プロフィール】

サイエンスライター。有害な化学物質から次世代を守るための市民活動、調査研究。著書に『知らずに食べていませんか？ネオニコチノイド』(高文研)、『香害は公害』ジャパンマシニスト社。『知ってびっくり 子どもの脳に有害な化学物質のお話』(食べもの通信社)。同社より2023年12月発行予定『身の回りにある有害物質とうまく付き合いたいです!』

ファーストフードの容器・包装からPFAS検出

米消費者レポート(Consumer Report)
2022年 食品容器・包装のPFAS調査

(有機フッ素化合物)

◆ファーストフード、レストラン
スーパーマーケットの118の容器・包装の
PFASを調査。半数以上からPFAS検出

◆マクドナルドの容器包装のPFASは？

100ppm 以上 ■■

フレンチフライ紙バッグ ■■

チキンナゲット紙バッグ ■■

ビッグマック容器 ■■



マクドナルドは2025年までにPFAS全廃を発表

カリフォルニア州では2021年から食品包装、調理器具のPFAS 規制 (100ppm以上)

デンマークは2020年より食品接触材 (FCMs) へのPFAS使用禁止
外食の多い人ほど、血液中のPFAS レベルが高い! (Journal Food 2021)